



《冬を楽しんでいますか》

寒い冬、いかがお過ごしですか？今回は、新刊本の中からおすすめの本と、インドアでもアウトドアでも楽しめる冬の本を紹介します！



新刊本より、おすすめの本はこちら！



森川成美／作

『はなの街オペラ』

(くもん出版)

大正時代、東京に奉公に出たはなが、オペラ役者として劇場で奮闘し、関東大震災後も歌を通して立ち上がろうとする物語。一言だけ「川口駅」も登場します。(担当T)

田中陽希／著

『それでも僕は歩き続ける』

(平凡社)

全国の間々を、電車や飛行機を使わず人力で移動し登り続ける。「グレートトラバース」で有名な著者の、これまでの半生と冒険を振り返った1冊。困難の中、笑顔でチャレンジし続ける姿に勇気づけられます。(担当I)

川村裕子／著

『平安男子の元気な！生活』

(岩波書店)

1000年以上前の平安時代に生きた男子は、優雅でまったりなのか？服装や恋愛事情、仕事等々がまるごと分かる1冊。

ユニークな語り口なので古文が苦手な人にもぜひ！(担当T)

濱野京子／著

『野原できみとピクニック』

(偕成社)

同じ駅にあるけれど、校風が違って交わることのなかった2校の男女の生徒。しかし、あるきっかけで次第に互いを思うように。

育った環境が全く違う2人を取り巻く世界に、共感できることがあるのでは？(担当T)

河本望／著

『どうぶつ英語フレーズ大集合！』

(偕成社)

『猫に小判』『馬の耳に念仏』のように、英語にもある動物が出てくる慣用句やことわざが、タイトル通り大集合！英語が親しみやすくなりますよ。(担当K)

増田史／著

『しんどい時の自分の守り方』

(ナツメ社)

今は特に、いろいろな“しんどい”のある時代。自分でできる心のケアや相談の方法など、知っておくと楽になれる、あなたにとってのヒントがきっとあるはず。(担当K)

本間正人／著

山本ミッシェールのぞみ／著

『やさしい英語でSDGs！』

(合同出版)

最近よく耳にするSDGs。

もともとの英語で書かれた文章に日本語訳やテーマごとの重要語句、解説が付いています。写真やグラフもあり、SDGsを英語でもわかりやすく学べる本です。(担当K)

松本俊彦／著

『世界一やさしい依存症入門』

(河出書房新社)

スマホ、ゲーム、甘いお菓子…好きなものにハマりすぎて、生活が乱れた経験、みなさんありませんか？誘惑の多い世の中を生き抜くために、読んでおきたい本です。(担当I)

エリザベス・アセヴェド／作

田中亜希子／訳

『詩人になりたいわたしX』

(小学館)

厳格な母親に育てられた十五歳の女の子シオマラ。不自由な日々の中、「来たれ、すべての詩人よ！」というチラシをきっかけに、詩に惹かれていく。心の内を言葉にして、道を切り拓いていく若者の青春小説。(担当I)



冬の本はこちら!



若林佳子／著

『若林佳子の花ことば【冬】』

(春陽堂書店)

12月から2月までのすべての日に、著者が選んだ花と花言葉を添えて、誕生花として表した一冊。あなたの誕生日は、どんな花でしょう。【春・夏・秋】もあります。

(担当 K)

片平孝／写真・文・構成

『雪の手紙』

(青菁社)

雪の結晶に霜柱から、御神渡りのような普段はあまり見られないような様々な雪景色も解説。

ページをめくる度に一期一会の雪の世界を味わえます。

(担当 T)

ヤンソン／著 山室静／訳

『ムーミン谷の冬』

(講談社)

雪の中、冬眠しているムーミン一家。

一人目覚めてしまったムーミンと一緒に、冬の世界の冒険物語へ!

(担当 K)

マーク・カッシーノ／作

ジョン・ネルソン／作

千葉茂樹／訳

『雪の結晶ノート』

(あすなる書房)

ポール・ギャリコ／著

矢川澄子／訳

『スノーグース』

(新潮社刊)

沼地のそばに住む孤独な男ラヤダーは、人とは交わらず、鳥達を世話して暮らしていた。ある日傷ついた鳥を抱えた少女がラヤダーを訪れて…

迷える渡り鳥が運んできた美しい物語。

(担当 I)

清水洋美／文

野見山響子／絵

『中谷宇吉郎 雪と氷の探求者』

(汐文社)

戦争前後の困難な時代に、雪や氷の研究を続けた中谷宇吉郎。世界で初めて雪の結晶を人工的に作ったことで有名です。彼の研究が、現在も色んな分野に活着していると気づかれます。

(担当 I)



スノーボーダー編集部／編

『スノーボード

はじめてBOOK』

(実業之日本社)

大森美美／監修

『ジュニアで差がつく!魅せる

フィギュアスケート上達の

ポイント50』(メイツ出版)

冬季オリンピックの競技種目になっています!

ウィンタースポーツとして、これから挑戦して楽しむのもよし!詳しく知って、競技観戦を楽しむのもよし!

(担当 K)



編集後記



赤羽一川口間を、電車で荒川を通る時に、冬の晴れの日には富士山が見えます。電車に乗ったら是非見てください。(担当 I)

夏に続き、冬のオリンピック・パラリンピックにも興味深々!新競技にも注目して、スポーツ観戦三昧でした!(担当 K)

雪が降ると雪だるまを必死に作っていた子どもの頃を思い出して、大人になった今でもワクワクしてしまいます。(担当 T)